

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年5月分】

1. 実施した活動の概要・状況

4月末から脇野沢地域で夢の平成号によるイルカウォッチングが始まり、そのガイドや親子を対象とした事業を企画して実施した。また、中学校の部活の地域移行プログラムである「むつ☆かつ」が本格的に始まり、川内・脇野沢地域の「総合文化クラブ」の講師として、今後活動を行っていく。

（主な活動）

◇5月27日（土） 親子でイルカウォッチング事業実施

青森大学社会学部教授で、陸奥湾のカマイルカの調査を長年続けていらっしゃる清川繁人様の案内のもと、夢の平成号でイルカウォッチングを行う親子向けのプログラムを昨年度に引き続き実施し、21名の参加者があった。

むつ市海と森ふれあい体験館で講義を行った後、平成号に乗船する予定だったが、この日は強風により欠航してしまったため、脇野沢の陸から双眼鏡を使ってイルカを探した。かなり沖の方ではあったが、イルカを発見することができ、また、牛の首農村公園では、子どもたちに磯遊びを楽しんでもらうこともできた。

乗船することはできなかったが、アンケート結果も概ね好評であり、「次は船に乗りたい」との意見も多かったため、来年度以降も実施していきたい。



◇イルカウォッチングガイド

夢の平成号でのイルカウォッチングのガイドを週2回ほどの頻度で、地域おこし協力隊が担当している。今年度は風波が強い日が多く、船が欠航することも多いが、その中でお越しいただいたお客様に楽しんでいただけるよう、カマイルカの解説だけでなく陸奥湾の海上から見える景色や鯛島をはじめとした下北ジオパークの見どころなども合わせてガイドを行っている。



◇むつ☆かつ講師

総合文化クラブ（川内・脇野沢地域）の講師を協力隊が担当し、協力隊3名のそれぞれの得意分野に合わせて、日替わりのプログラムを行っている。現在総合文化クラブには3名の部員がいる。

自らはボードゲームを子どもたちと一緒に実施しており、体験館にある数十種類のゲームから、部活の時間内に楽しめるものを選んで教えている。

2. 翌月の活動予定

- 6月1日（木） カヤック・SUP 体験受付開始（しもきた TABI あしすとホームページにて）
- 6月3日（土） 親子でイルカウォッチング（2回目）
- 6月18日（日） ガサガサ探検隊 in 湯野川
- 6月25日（日） 第2回むつ川内ホタテフェスティバル